



湖 都 通 信

56

2008.3.1

特別寄稿	2
開業医	3~4
総会報告	5

関東支部会報告記	6~7
保健師部会	8
医師賠償責任保険	9
LITTLE WINDOW	10

2007年度総会 渡辺会長再選、6期目突入!

各幹事の続投も承認されました。また学生の正会員化により生じる学生の「湖医会」会員としての、権利義務等を明確にするため、来年度総会に向けて「会則」の整備をはかることとなりました。(詳細は5頁)

・医師賠償責任保険加入受付スタート

先号紹介しました「医師賠償責任保険」への加入申込の受付を開始します。同封のご案内をご熟読いただき、お申し込みください。一人でも多くの方のご加入をお待ちしています(詳細は9頁)。

・「里親GP」を支援

「里親GP(Good Practice)とは、地域医療を担う医師・看護師の育成を卒業生や地域住民の方々が支援しようという文部科学省の支援を受けた取り組みです。地方の医師不足が叫ばれる昨今、「湖医会」でも大いに支援する意義があるのではないのでしょうか?(詳細は同封の関連書類をご覧ください。)

・「湖医会」VISAカード契約終止のお知らせ

永年ご愛用いただいております「湖医会」VISAカードが、三井住友カード(株)の申し出により、3月末日で契約を解除し利用を終了することになりました。「湖医会」カードをご利用の会員の皆様には、別途ご案内をさせていただきます(詳細は9頁)。

天皇、皇后両陛下、行幸啓される



社会福祉法人湖青福祉会 ケアタウンからさき

青木裕彦 (医1期生)

さる、2007年11月10日(土)、「第27回全国豊かな海づくり大会」のために13年ぶりに滋賀県に行幸啓された天皇、皇后両陛下は、滋賀県公館をご訪問されたあと、「ケアタウンからさき」を行幸啓されました。「ケアタウンからさき」は、私ども社会福祉法人湖青福祉会が、2003年9月1日に大津市の唐崎で開設し、5年目を迎えた全室個室のユニット型の介護老人福祉施設をはじめ、ショートステイ、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、ケアハウス、居宅介護支援センターを同一建物内に備えた高齢者のための複合施設です。街のなかにある介護福祉の複合施設として、「ケアタウン」という名前を付けており、120名の入所者がおられます。お出迎えのあと、ご入所者様の書道教室、歌のレクリエーションなどを御覧になりました。歌のレクリエーションでは、入所者様が歌っておられた「琵琶湖周航の歌」を、「滋賀県民の愛着のある歌の一つです」とご説明させて頂くと、天皇陛下が「もう一度お願いします」とアンコール

される場面もありました。両陛下とも、ご入居者様お一人お一人にお声を掛けて下さり、なかには感極まって涙ぐまれるご入居者様もおられました。1時間40分施設に御滞在され、両陛下は休憩所で私どもと、20分間にわたり、施設の概要、滋賀県の高齢化率等、これからの高齢化社会に対するの展望などを御聴取されました。また、職員の健康等(腰痛など)につき御心配も頂き、皇后陛下に「これからも高齢者をよろしく願います」とお言葉を頂きました。約半年前より警備上のため、宮内庁、皇宮警察、滋賀県警、滋賀県庁との打ち合わせ、視察を繰り返し大変でしたが、施設の全てのスタッフにも温かいねぎらいの言葉をかけていただき、ご入居者様にとっても、施設のスタッフにとっても忘れられない一日になりました。



(お一人、お一人に声を掛けられる両陛下)



(説明を受けられる両陛下、後ろが筆者)

第7回『湖医会賞』 受賞候補者募集中!

締切:2008年6月30日

ホームページでも案内しています <http://www.koikai.org>

研究領域
教育領域
臨床・福祉領域
その他の領域

各分野で活躍する卒業生をご推薦ください。
自薦他薦は問いません。

『湖医会賞』とは・・・

研究や学生等の教育、地域医療等の臨床・介護・福祉その他の領域で優れた実践を行い、医学および医療・福祉の向上に貢献した「湖医会」会員に対して、賞状ならびに副賞(20万円)をもってその栄誉を称えるものです。ただいま、第6回「受賞候補者」を募集しています。自薦・他薦を問いませんので、多数ご応募ください。

応募方法

FAX 077-548-2094 または メール koikai@koikai.org
詳しくは事務局へお問い合わせください

受賞者

●第1回受賞者(2002年)
・埜田和史氏・井上慶郎氏
●第2回受賞者(2003年)
・青木裕彦氏・茶野徳宏氏

●第3回受賞者(2004年)
・小山恒男氏・猪木健氏
●第4回受賞者(2005年)
・藤宮峯子氏・塩入俊樹氏

●第5回受賞者(2006年)
・岩本あづさ氏・西村栄美氏
●第6回受賞者(2007年)
・植松裕氏・金谷誠一郎氏
・角野文彦氏・河野史代氏



(院内の様子)

<http://www.web-know.com/sky/>

ユニークな 形態の整形外科を目指して

SKY整形外科クリニック 院長

瀬戸 洋一 (医1期生)



滋賀医科大学同窓生及び関係者の皆様、益々ご活躍のことと存じます。私は医学科 1 期生の瀬戸洋一です。1981 年、京都大学整形外科学教室に入局後は、母校とのかかわりは少なく過ごしてまいりました。ただ、守山市にある滋賀県立小児保健医療センターで整形外科のスタッフとして約 16 年間働いてきました。その間、滋賀医大整形外科の先生方とは仲良く仕事をさせていただきました。

現在勤めていますのは、大阪府茨木市にある SKY (スカイ) 整形外科クリニックという有床の診療所です。金沢医科大学卒の吉野宏一 (理事長) がオーナーで、私は院長の肩書きで仕事をしています。京都大学卒の柏木直也 (副院長、滋賀医大非常勤講師) と 3 人で、その頭文字である S (瀬戸)、K (柏木)、Y (吉野) をとって 2006 年 7 月に開設しました。私と柏木医師は小児保健医療センターで共に仕事をしてきました。吉野医師とは、私たちが最も専門としているイリザロフ創外固定器を用いた治療を通じて約 10 年前に知り合いました。

整形外科は下肢に症状のある方や腰痛を抱えておられる患者さんがほとんどですから、開業する場合、階段のない 1 階が条件です。さらに駅前という条件は難しいものですが、阪急茨木市駅前にある茨木東阪急ビルがそれらに合致しました。しかし、ビルの中にあることや駅からの人の流れの問題などでクリニックの存在がわかりにくく、開院当初は思ったほど患者さんは増えませんでした。最近では口コミで患者

さんも来られ、このような状況になって初めて『駅前にあるから』という理由で受診する患者さんも増えています。

私達のクリニックでは、一般整形外科は勿論のことイリザロフ創外固定器を用いた治療 (骨折などの外傷治療、骨の変形矯正、脚延長など)、小児整形外科、手の外科をメインに診療を行っています。手術麻酔は、成人や年長児は吉野医師が、年少児や乳幼児は非常勤の麻酔科医師にお願いしており、年齢層幅広く手術を行っています。2006 年度の手術件数は局麻手術も入れて約 330 例であり、小さなクリニックの割には健闘しているのではないかと自負しております。イリザロフ法に関しては、日本でトップレベルの実績があり、手術見学に訪れてくださる医師は多くおられます。私達のユニークなクリニック形態や専門性を重視した整形外科に関心のある方は是非一度訪れてみてください。いつでも歓迎いたします。

外来は午前診、夜診を 3 人で交替して担当しています。休日や平日も交替で当直します。当初は外来も少なかったため、夜間の急患も積極的に診ていましたが、外来数 (現在 1 日平均 200 人) や手術の増加もあり夜間救急は当院通院中の方に限定しています。また、夜間や休日はいわゆる monster patient が多いので対応に困ります。その上、時間外救急をしても体制をとるのが大変であり、報道でもあるような救急体制の崩壊になっているのではないのでしょうか。私たちがそのような経験をして初めて知る実態でした。

私と柏木医師は現在小児センターのある守山市に住んでいます。ここ数十年、自転車で 5、6 分の通勤でした。忘れ物をして多少仕事が遅くなっても楽でしたし、休日など気になる患者さんが入院している場合でも簡単に行けたわけですが、今は毎日朝早く起きて 1 時間 20 分ほどの電車通勤をしています。手術や夜診が遅くなると、帰りつのが午後 10 時を回ります。遅い夕食を摂って風呂に入って寝るだけで、週休 2 日であった公務員医師の時とは時間の流れに雲泥の差があります。しかし、以前は多くの時間を費やしていた会議や書類の処理が減り、医師としての仕事が増え、やりがいがあります。まだまだ駆け出しですが、地域医療だけでなく私たちの専門性を生かして、全国から治療に来ていただけるクリニックを目指しがんばっていかうと思っておりますのでよろしく願いいたします。



(イリザロフ法による両側下腿延長術)

楽しく仕事をしています



医仁会武田総合病院 産婦人科 部長 山本嘉昭 (医2期生)

湖医会のみなさんお久しぶりです。最近の産婦人科の先生方、はたまた同期生の友人からのメールにも、「いつまで持つか我慢くらべだね」などと暗い気持ちの医師たちが大変多く、気がつけば社会全体がそんな気持ちになっているような気がします。昨年まで私もその仲間でしたが、今は全く違い、毎日がうれしいことの連続です。まず最初にしたのは、悪いニュースを言うばかりのテレビを全く見ないようにしました。「殺人事件」と「赤福もちの期限」を同じように取り扱う報道は、視聴率ばかりを気にしているだけでしょう。新聞もインターネットの愚痴ばかりのメーリングリストも見ません。代わりに本を読んでいると、世界中の賢明な者たちは、昔から同じ様な事を言っていることが分かります。聖書も、仏教の本も、現代の作者たちも多くの方が、「生きること」を真剣に考え、それぞれ同じような方法を伝えております。その中から少し紹介します。

1. 早起きをすること。
2. 継続的適度の運動。
3. 習慣性になるもの「たばこ」「アルコール」「他人への依存」を極力さける。
4. 毎日少しだけの朝の瞑想、1週に1回の休日。
5. 疲れているときは、読書や遊び、家事などの欲を捨てなるべく早く寝る。
6. 空元気でも良いから、明るく過ごしてみる、など。



そうして、自分の人生で何をしたいか目標をしっかり決めること。短期の目標も必要ですが、必ず人は死ぬものですから、繰り返し利かない人生の目標を考える。間違った目標に長い時間をかけず、真の目標を遂げるために必要なことを年単位で考えていく。そこで気がついたのは、こんな事、絵本にいっぱい書いてありますよね。夏休みの宿題の時に言われましたが、大人の世界を知った今はできない(私もその一人です)。これではすぐに子ども達に見抜かれてしまわれ、子どもは大人のまねをし、大人も恥ずかしいから子どもを叱れない。「赤信号みんなで渡れば怖くない」「金儲けのみの仕事のどこが悪い(〇〇ファンド)」「目に見えるものしか信用しない」「人間は死なない、少なくとも私の前では死んでほしくない」などと変な方向に進んでしまっているのではないのでしょうか。

神様とくらべたら人間は欲深く、弱く、無力です。絵本通りに生きることは難しいのですが、目標ができると人間はとんでもなく強くなれるものです。既に大金持ちのイチロー選手などはみんなにそれを教えるためにがんばっていると思えます。戦前、戦争直後にくらべると医師の仕事は生やさしい、今は本当は幸せなのではないでしょうか。目の前の患者さんは、いつかは必ずどこかで死ぬのですから、すべての医療は延命にすぎません。しかし、そこで得た時間を有効に生かしてもらおう、人々を導いていくことも医師の重要な仕事として先人医師達は教えています。人から見たら他

愛のない目標でも、しっかりした目標を聞き出し、あるいは見つけ出してもらい、その方のために医療を行うことは、とても幸せな仕事をしている実感にあふれ、疲れることを感じさせません。また、私たちが死んだ後の世界をより良いものにしていくために、子ども達を正しい大人にしていくことが、今の私の一番の楽しみと思える日々です。同じようなことを伝えようとしている方々も沢山おられます。たとえば芸術で、宗教で、NPO 活動で、町の掃除をしたりしている人さえも、同じ思いで気づかせようと努力されています。何歳であろうとかまいませんが、気づけば幸せになるはずで、すでにお気づきの先生方には恥ずかしいですが、若い学生さん達も読んでもらえる湖都通信に載せていただけると聞き感謝いたします。

「医者患者さんを笑わせて一人前」数年前にテレビのセリフで聞いた言葉ですが、先週癌で私と同じ年で生涯を終えた患者さんが、その前に幸せに満ちた笑顔になっていただけたので、私もやっと一人前になったと思います、私に教えてくれた患者さん達、その他の方々に感謝します。神様の元に行く前に、私のこれからの人生は、毎日楽しいものになりそうです。みなさんも元氣を出せば、みなさんの家族や患者さんにも元氣が出ますので、きっと幸せになれますよ。

2007年度 同窓会総会議事録

*第55号に幹事の報告として総会の資料を掲載していますので、それに基づいて報告します

- 1、2006年度事業報告(2006.9.1~2007.8.31)は資料通り承認された。
- 2、2006年度決算報告は資料通り承認された。
- 3、2006年度奨学金収支報告は資料通り承認された。
- 4、2007年度事業計画(2007.9.1~2008.8.31)は資料通り承認された。
- 5、2007年度予算は資料通り承認された。
- 6、役員改選・・・承認 (右記参照)

会長を除いて辞任は妨げない。

7、会則、規定の整備課題について

- 1) 特別会員の構成員の名称で助教授を准教授に変更する。また助教までが学生を指導する立場になっているが、特別会員の構成メンバーの変更をどうするのかを検討する。(現在は現教員のうち講師・准教授・教授が特別会員となる)
- 2) 学生を「正会員」とすることにより生じる事柄を整理する
 - ・学生時に死亡した人も名簿に載せる。
 - ・総会などにオブザーバーとして参加できる人をどう定めるか検討する。
 - ・発言権も投票権もない、というのは民主的でないので検討する。
- 3) 役員選出規定や学生の位置づけなど、会則の見直しをすすめ
2008年度の総会で承認を受け、2009年度の総会から実施する。

8、奨学金について

- 1) 「藤原よしみ」の基金が底をつく現状における打開策として、名称は独立させたままで、二つの奨学金制度を財政的には包括的に運営してはどうか検討することになった。
- 2) 奨学金規定の見直し・・・『湖医会奨学金』5年・『藤原よしみ奨学金』3年を実施してみて、現状に則すよう対象学年や貸与金額の見直しを検討することになった。

9、その他

- 1) 医師賠償責任保険の加入者とりまとめの窓口となる作業を進めている。
- 2) 「湖医会」年会費の自動引落は集金代行会社を利用することに決まった。
- 3) 「湖医会」創立30周年事業については今後検討していくことになった。
- 4) その他に次の意見があった
 - ・研修医の意見交換の場を「湖医会」HP上にでも公開したらどうか
 - ・同期会の時に、今後5年ないし10年の幹事を決めてもらうように諮ってはどうか。
 - ・大学主催で同窓会の人に関わる会議の議事録は学内向けにのみ開示されている。会員への情報開示としては不十分であるため、学外の会員も見られるようにするのが望ましい。

役員・幹事一覧 (任期は2007年10月~2009年10月まで) (敬称略)

会長	渡辺一良 (医2)	副会長	白石知子 (看1)
副会長	中島滋美 (医2)		上間美穂 (看2)
	野村哲哉 (医2)	会計監査	来見良誠 (医1)
	相見良成 (医5)		安屋敷和秀 (医3)
	九嶋亮治 (医6)	アドバイザー	永田 啓 (医2)
	黒川 清 (医6)		埴田和史 (医3)
	金子 均 (医7)		
	西村明儒 (医7)		
	茶野徳宏 (医10)		
	真田 充 (医15)		

医学科学年幹事 ()は期生

笹原正清 (1)	糸島崇博 (10)	竹村しづき (19)
佐藤 功 (1)	松下亮二 (10)	松井克之 (19)
高橋正行 (1)	石川弘伸 (11)	園田文乃 (20)
藤宮峯子 (1)	福留寿生 (11)	早藤清行 (20)
山下真木夫 (2)	一色啓二 (12)	竹林紀子 (20)
阿部 元 (3)	高瀬年人 (12)	三村朋大 (20)
高橋雅士 (3)	千野佳秀 (12)	伊藤 岳 (21)
若林賢彦 (3)	福田方子 (12)	桐ヶ谷大淳 (21)
古家大祐 (4)	浜中恭代 (12)	望月昭彦 (21)
石澤命仁 (4)	尾関祐二 (13)	斎藤 実 (22)
高田政彦 (4)	林 寛子 (13)	山川 勇 (22)
市川正春 (5)	前田清澄 (13)	小出正洋 (23)
小川 勉 (5)	池原 譲 (14)	嶋 綾子 (23)
駒井 理 (5)	門脇 崇 (14)	栗本直季 (24)
庭川光行 (5)	佐々木靖之 (14)	佐野剛視 (24)
河崎千尋 (6)	小森英寛 (15)	寺村真範 (24)
竹下和良 (6)	河端秀明 (16)	安田真子 (25)
藤田泰之 (6)	黄瀬一慶 (16)	龍神 慶 (25)
山出一郎 (6)	吉川浩平 (16)	藤野 晋 (26)
山本育男 (7)	坂口知子 (17)	文 一恵 (26)
乾 武広 (8)	四方寛子 (17)	青木信也 (27)
内田康和 (8)	津川拓也 (18)	井上明星 (27)
牧浦弥恵子 (8)	山根哲信 (18)	瀬戸瑠里子 (27)
野口俊文 (9)	北村将司 (19)	

看護学科学年幹事

上野さおり (1)	杉山鑑恵 (4)	小林 愛 (7)
本多綾子 (1)	廣峰景子 (4)	都間かおり (7)
西田佳菜 (2)	宮原 梢 (4)	堂上優美 (7)
南 明紀 (2)	谷 智子 (5)	野上朋子 (8)
村松由香里 (2)	福家妙子 (5)	宇佐美亮子 (9)
亀田諭可 (3)	赤澤仁美 (6)	西村悠里 (9)
服部すなを (3)	川越のぞみ (6)	辻 沙緒理 (10)
井上直子 (4)	矢野美恵子 (6)	

関東支部会報告記

vol. 9

第9回関東支部会が2007年8月18日(土)、東京品川プリンスホテルで行われました。例年の如し医8期生の河崎幹雄氏が中心となって行われ、29名が参加しました。恒例の「ミニ講演会」は、早稲田大学スポーツ科学部教授の内田直氏(医3期生)が講師として招かれ、『最近の早稲田スポーツとトプアスリートの時間生物学的研究について』について興味深い話をされました。

来年も学生参加大歓迎!! だそうです。夏に臨床実習や帰省で東京近辺にいる予定の医学科・看護学科の学生さんはぜひ参加してみてください。先輩達が暖かく迎えてくれます! 会費無料!!



内田氏の講演

～関東支部会に参加して～

早稲田大学スポーツ精神医学講座 教授

内田直 (医3期生)



久しぶりに、大学時代の仲間に会うのは良いものだ。私は、卒業してからは東京医科歯科大学で研修し、アメリカに行った後、東京都精神医学総合研究所で研究員をしていた。その後、2003年から早稲田大学でスポーツ医科学の教育と研究をしている。滋賀医科大学の人たちとの接点は、普段の生活の中では殆ど無い。こういう自分にとっては、関東支部会は本当に懐かしい気持ちを思い起こさせる。今回は、久しぶりの参加だった。話をすることを頼まれて、つい大学時代の思い出話や雑談をまずは長々としてしまう

た。話は、あまり堅苦しくなっても面白くないので、早稲田スポーツや、スポーツ選手が意外に精神科的なケアを必要としているということ話を話した。早稲田に行ってから、ラグビー部のメディカルスタッフをおおせつかり、後輩の山崎先生などとも出会った。そういうとき、同窓というのはとても安心感がある。私などは、卒業後そういう思いを殆どしていなかったもので、つくづく感じる。話の後、多くの人から声をかけていただいた。先輩方も懐かしい。本当に、大学時代の仲間に会うというのは良いものだ。

～関東支部会に初参加～



昭和大学消化器内科
都立駒込病院

小川修 (医15期生)
小川奈津 (医17期生)

卒業後すぐ関東で就職し、約10年が経ちます。同窓生と接する機会はほとんどありませんでしたが、無我夢中の歳月の中では不自由や寂しさを感じませんでした。

結婚・出産を経験し落ち着いてきた最近、以前の勤務先の先輩が話していた「関東支部会」を思い出し、初めて参加することにしました。

初めは医学科3期生の早稲田大学スポーツ科学部教授の内田先生の講演でした。華やかに見えるアスリートたちの精神分析は、大変興味深かったです。また、なごやかに質疑応答が進んでいくのも支部会ならではの、と感じました。

懇親会では、部の大先輩がいたり、近所に先輩が住んでいることが分かったりし、話がはずみました。また、関東進出をもうけている後輩との話には、若かりし日を思い出しました。母校を離れるのは寂しい事ですが、関東は勉強に遊びに魅力のある場所です。今後仲間が増える事を期待したいです。

来年はタムタムとかも加え、より多くで盛り上げられる事を楽しみにしています。

～歴史を刻む～

河崎外科胃腸科 院長

河崎幹雄 (医8期生)



8期生の河崎です。諸先輩方、「湖医会」(特に事務の方々)に助けて頂き再開できた関東支部会も来年で10周年となります。今年是小川修先生(15期生)、奈津先生(17期生)夫婦が可愛いお子さんと一緒に参加され、アットホームな関東支部会が開けたと思っています。また、先輩方の中にはお子さんが滋賀医科大学に入学されている方もいて、いずれは親子で同期会に参加されるようになると思うと(先輩が子供を紹介する笑顔が目に見えびます)歴史をひしひしと感じます。昨年参加している学生達も関東で医者への第一歩を踏み出し、関東支部会が続く限り先輩・後輩とつながりが続いてくれるはず。気軽に参加でき、懐かしく、楽しい時間が過ごせる同総会・・・皆が笑顔で来年も再来年も・・・歴史を刻んでいきましょう!



話しに花が咲きました

たくさんの学生さんが参加しました



二日目のゴルフ



先日行われた関東支部会の手配などおつかれさまでした。東京にいらっしゃる先生方とお話できてとても楽しかったです。ありがとうございました

医5回生 高林健介

まだ3回生ということもあって気楽な気持ちで参加させていただいたのですが、予想以上に色々な経験ができ、大満足・大感謝な夜でした。

内田先生の講演は「スポーツ医学と睡眠医学」を中心にしたお話で、先生独特の語り口調も加わって、とても楽しく興味深く伺うことができました。授業ではあまり接したことのないこのようなテーマを拝聴できることは、まさにこの会の醍醐味であると感じます。

普段滅多にお話しさせていただく機会のない大先輩方と1対1で対面する機会を得られたことも、またとない素晴らしいチャンスでした。参加する前は「難しいお話ばかりでついていけなかったらどうしよう・・・」と心配していましたが、先生方に様々なお気遣いをいただき、学生からの質問もしやすくとても楽しい雰囲気でした。懇親会の前に、学生から一言ずつ先生方の前で自己紹介させていただく時間を設けていただいたのも、とてもありがたかったです。女性の先輩医師から仕事と子育てについて伺ったり、将来進みたいと思っている糖尿病診療の現状を教えてくださいたりと、今後につながる知見も多く得られました。

またぜひ、次回の記念すべき第10回の集まりにも参加させていただきたいと思っております。その時までには少しでも成長した自分をお見せできるよう、日々勉強に人間磨きに頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

医3回生 徳世久美

内田先生の講演はとても興味深く拝聴させていただきました。スポーツ精神医学という聞き慣れないタイトルでしたが、なるほどと思える内容でした。また、自分の興味のある診療科の先生がたとお話しさせていただき、関東で経験を積むためにはどうしたらいいかなど具体的なアドバイスもいただけました。その他、行政内で医師として活躍するなどいろいろな働き方があることも知り、出席させていただいて本当に良かったと思っています。

医3回生 佐野直子

参加学生の感想

先日は関東支部会に参加させて頂きありがとうございました。

短い時間ではありましたが、気さくにお話して頂きとても有意義な時間を過ごすことができました。病院で勤務されている先生や開業されている先生だけではなく、教鞭をとられている先生や行政に携わっている先生など、様々な分野でのお話を伺わせて頂きとても視野が広がったように思います。また、関西圏と関東圏の医療上の差の有無など様々なお話を伺うことができました。実際に関東圏でご活躍されている先生方にお会いして、お話を伺わせて頂くという貴重な経験ができましたことを嬉しく思います。本当にありがとうございました。

医5回生 吉田恵美子

関東支部では、1期生の先生方から、そのころの滋賀医大の様子などを聞くことができ、また講演をしてくださった先生のお話も、興味深く聞くことができました。

参加する前は、将来の希望科である小児科の先生のお話や、研修医の先生のお話をきいて、研修先の選択に活かすことができたか...と思っていたのですが、今回の関東支部会には、小児科の先生や研修医の先生方はいらっやいませんでしたので、始めは少し残念でした。しかし、私は実家も関西で、関東に地縁があるわけではないのですが、関東支部会の先生方にお会いして、地元関西でなくとも、先輩方が活躍されていることに安心感というか、勇気をいただきました。

このような会に、学生を参加させていただき、本当に感謝しております。

医5回生 飯山きえ

先日は関東支部会に出席させていただきありがとうございました。参加されていたのは大先輩の方々が多かったのですが、気さくにお話していただき、昔の滋賀医大の様子をお聞きしたり、マッチングに向けてのアドバイスや先輩方が勤務しておられる病院についてのお話も伺うことができました。たくさんの先輩方が関東で活躍されていることを知り、私達学生にとって励みになりました。

今後も支部会の輪が広がっていき、いつか自分も後輩のために役立てるようになればいいと思います。

医5回生 野中愛

保健師部会

活発に活動していま～す



～保健師部会に参加して～



大津市健康推進課
保健師 岡本 美紀 (看9期生)

私は、今回初めて保健師交流会に参加しました。今回、8・9期生が幹事担当学年ということで、不安もありましたが、8期生含め、皆さんの協力もあり、無事行うことができました。参加者は1期生から10期生までの17名で、今までに比べると少なめでしたが、和気あいあいとした雰囲気先輩や友人、後輩と楽しいひと時を過ごしました。

今回、今までにない新たな取り組みとして、参加者に質問票を配り、先輩・後輩に聞いてみたいことを記入してもらい、それを基に1人1人に質問するというを行いました。質問内容は、ストレス解消法などのプライベートなものから、1日の仕事量、一人前になったと思うときはあるかななどの仕事に関するものまで、いろいろなものがありました。質問票を用いたことで、短い交流会の時間の中で、自己紹介だけでなく、皆が日頃感じている悩みや疑問、それぞれの職場の現状などをお互いに共有することができました。普段、職場ではできない話もできたのではないかと思います。

私は保健師として働いて2年目、正職としては半年で、まだまだわからないことが多く、不安になったり、時にはくじけそうになったりすることもあります。今回、交流会で皆の話を聞き、皆もそれぞれに悩みや不安を持ちながら仕事に励んでいることがわかり、自分も頑張ろうと思うことができました。また、保健師歴の長い先輩方からお話をいただき、自分の将来にも見通しを持つことができました。来年の保健師会で、また保健師の皆さんの話を聞くのを楽しみに、毎日の仕事を頑張りたいと思います。



湖南省役所健康政策課 (湖南省保健センター)
保健師 辻 沙緒理 (看10期生)

保健師として働く卒業生が集まる交流会が今年も開催されました。私も今年、社会人として初めて参加致しました。多くの卒業生は看護師として臨床に進み、保健師として就職するのは毎年数人です。法律が改正され、業務分担制や保健師の分散配置が進む変革の中で、現場に出て初めて気づく事、悩みや迷いが多々あります。しかし、相談できる同窓生も少ないため、タイムリーな情報交換ができないのが現状です。そのような状況に対して、悩みの共有や情報交換が行えるよう、保健師の同窓会が年に1回開かれています。

今回は1期生から10期生が参加し、他府県からの参加や、出産され育休中での参加の方もおられました。おいしい料理やお酒に舌鼓を打ち、アットホームな雰囲気の中で皆さんとお話するうちに、日頃悩んでいた事や素朴な疑問が学生時代のように次々と湧いてきました。また、私も含め、どの学年の方も他市・他府県の現状を知ったり、悩みが共有できたりした事で、明日の仕事へのモチベーションが高まった印象を受けました。それに加え、一人の人間としてこれからの仕事やライフステージに合わせた充実したプライベートへのヒントをいただけた気がします。お互いを認め合い、思いを共有できる仲間がたくさんいること、ロールモデルとなるすばらしい先輩がいることに感謝した一日でした。

本会は卒後2年目が幹事となります。次回は、いよいよ私も幹事として恩返しする番です。滋賀医科大学同窓会「湖医会」の方々、幹事をくださった先輩方に感謝するとともに、来年はお互いの経験をそれぞれ活かし、保健師会の輪が今後もより広がっていくよう尽力いたします。この改革の時代、一人一人が自分らしく保健師活動が続けられるように仲間との語らいを大切に、楽しく有意義な時間になればと考えますので、より多くの方の参加をお待ちしております。

★ご注意ください

「湖医会」VISAカードが使用できなくなります

利用者の方にはすでにご案内していますように三井住友カード株式会社の申し出により「湖医会」VISAカードの提携が3月末で解除されます。カードの保有者数が伸び悩み、信販会社のカード作成費用や維持コストで採算が合わないためです。たいへんご迷惑をおかけいたしますが、よろしくご了承下さい。

なお、「湖医会」カード独自の特典は2008年5月末で受けられなくなりますのでご注意ください。

VISA一般カードは引き続きご利用頂けます！

詳しくは事務局にお尋ね下さい

★「湖医会」が 医師賠償責任保険の団体窓口



勤務医対象

会費なら

団体割引により **保険料が安くなります**

— 勤務医師賠償責任保険 —

- 👉 申込手続きは初回のみ。自動更新(予定)で手間入らず
- 👉 保険料は口座自動引落しで振込の手間入らず
- 👉 加入者数によって保険料の割引率が高くなります

この機会にぜひ、ご加入・切替ください

申込締切は **4月7日**

随時、中途加入も可能です

申込は同封の申込用紙をご利用下さい

保険の内容は、同封のチラシをご覧ください！

★引受保険会社 東京海上日動火災保険(株)



准教授紹介

金谷 誠一郎 (医4期生) 藤田保健衛生大学 上部消化管外科 准教授



1984年 3月: 滋賀医科大学医学部 卒業
 1984年 5月: 滋賀医科大学 第2外科 研修医
 1986年 2月: 京都桂病院 外科 医員
 1990年 5月: 京都大学 第2外科 医員
 1992年 4月: ドイツ・ハノーバー医科大学 腹部移植外科 留学
 1992年 8月: NTT京都病院 外科 医員
 1995年 8月: 国立姫路病院(現姫路医療センター) 外科 医員
 2005年 4月: 姫路医療センター 内視鏡外科 医長
 2007年10月: 藤田保健衛生大学 上部消化管外科 准教授

2007年10月1日付けで、藤田保健衛生大学上部消化管外科の准教授に就任した4期生の金谷です。新任地は胃癌・食道癌に対する腹腔鏡手術で有名な教室で、全国から腹腔鏡手術を学びに医局員が集まっています。教授とは「胃癌・食道癌に対する新しい治療法を全国/世界に向け発信し、かつ、これからの胃癌・食道癌治療を担う人材を育てよう」との壮大な構想を話し合っています。学閥はなく100%実力主義の新しいタイプの医局です。腹腔鏡手術に興味ある方は遊びに来てください。刺激いっぱいです。滋賀医科大学同窓会の皆様には、今後も変わらないご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



相変わらず京都の刑事施設に勤めています。ブログの更新にも少し努めております。

医2期生 國定隆信

ブログ:
<http://blog.goo.ne.jp/nekoski/>

京都府北部京丹後市にあるたんご協立診療所に2004年から所長として赴任。外来、往診で日々忙しいです。在宅療養支援診療所なので、拘束が多いです。また、京都家庭医療学センターを立ち上げて、後期研修医の受け入れを始めているところです。

医17期生 寺本敬一

千葉県鴨川市の亀田総合病院で緩和ケア科(チーム)の責任者をしております。緩和ケアの専門研修プログラム(フェロシップ)を立ち上げまして、今年4月から第1期生が研修開始予定です。以下参照ください。

http://www.kameda-resident.jp/medical/etc_6.html

昨年度の募集定員は1名でしたが、今年度は2名を採用予定ですので、先輩の若手医師で緩和ケア専門研修に興味のある方がおられましたら、一度病院まで見学に来られることを是非お勧めください。

ものすごい田舎ですが、目の前に海と山があり、魚がとてもおいしいところです。

今年の秋頃に滋賀医大に哲学の早島先生の紹介で緩和ケアと臨床倫理について、講義させて頂く予定です。大学病院勤務の皆様には、お時間があればそのときにお会いできればと思っています。

医17期生 関根龍一

福岡で開業して13年になり、いまや立派なおじさんです。つれづれなる日々の中で何を思ったのか、2007年7月に下記の本を出版しました。日本の人口は加速度的に減少するといわれていますが、それは本当だろうか?といった内容です。機会がありましたら、ご高覧下さい。
 タイトル:「日本の人口は減らない」
 マネジメント社

医7期生 南俊秀



訃報

北野浩之君を偲んで

高山クリニック

高山昌奎 (医4期生)



1984年春、北野君を含め4人が半年間の脳神経外科入局し、病棟での研修生活をスタートした。それ以来、北野君はじめ多くの先輩が、仕事で忙しくなり、徐々に顔つきも変え、怒った顔を見ることがなくなり、何となく寂しい気持ちになった。そのうち、半年間の研修も終わり、それぞれが自分の道を歩みだした。北野君は、研修期間中、いつも笑顔で、先輩を敬愛し、自分が学んだことを、後輩に教えるのが好きだった。彼がいないと、何かと寂しい感じがする。彼がいないと、何かと寂しい感じがする。彼がいないと、何かと寂しい感じがする。

ご寄付のお礼

医学科6期生有志/医学科16期生有志のみならず

同期会の余剰金を「湖医学会」奨学金と一部を事務局の備品等の購入に充当させていただきました。

ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。



ご報告が遅くなりまして申し訳ございませんでした。

ご協賛
ありがとうございます

杏林製薬株式会社 / 扶桑薬品工業株式会社 / アルフレッサファーム株式会社 (順不同)